

講演会

『福島原発 放射能被害の実態』

—— 食を通して放射能のことを考えてみませんか？ ——

福島原発事故の原因究明が十分になされない中で、大飯原発 第3・4号炉の再稼働を強引に押し進めようとしています。

その福島原発は、今どうなっているのか？

チェルノブイリ事故後の被害の研究を通して、今後予想される被害は？

そして食を通しての内部被ばくの危険性とは？

今、最前線で原発問題に取り組んでおられる今中さんのお話を伺い、私たちの身にせまる危険とは何かを考える機会にしたいと思います。

講師 今中 哲二さん (京都大学原子炉実験所助教)

大阪大学工学部原子力工学科卒、東京工業大学理工学研究科原子核工学修士課程修了。1976年より現職。
専門は原子力工学。チェルノブイリ原発事故研究で知られる。

日時 2012年6月2日(土)
午後 2時～4時30分

場所 高槻市立総合市民交流センター
(クロスパル高槻)
5F 視聴覚室
保育あり

(保育料200円 要予約 先着15名)

保育希望の方は、5月26日までに
072-669-3773(岡川)までご連絡ください。



資料代 500円

主催 生活者の会(共同購入グループ)
TEL072-669-3773
高槻市道鶴町4-13-4
<http://www1.ocn.ne.jp/~seikatsu/>

後援 社会福祉法人・四季の会 梶原ピッコロ保育園
学校法人 今村学園高槻幼稚園